

式 辞

見ごたえある桜の時期はすでに過ぎてしましましたが、代わりに新緑が目に入る季節となり、本校のスクールカラーである萌黄色がそこかしこで美しく映える日々となりました。

この佳き日に、同窓会長 福田謙一郎（ふくだ けんいちろう）様、PTA会長 樋口知子（ひぐち ともこ）様、学校評議員・高南中学校校長 伊藤尚毅（いとう なおき）様、同じく学校評議員・同窓会副会長 杉山英一（すぎやま えいいち）様を始め、多くの御来賓と保護者の皆様方の御臨席を賜り、群馬県立高崎東高等学校第四十回入学式を挙行できますことは、私ども教職員一同の大きな喜びであり、心より厚く御礼を申し上げます。

ただ今、晴れて入学を許可された第四十期、百六十名の皆さん、入学おめでとうございます。そして今日までお子様を様々な面で支えてこられた保護者の皆様、本日は誠におめでとうございます。教職員一同を代表して、心よりお祝い申し上げます。

先ほど、「第四十期」と申し上げましたが、本校は今年で創立四十周年を迎えました。この節目の年に際し、創立以来の本校の教育目標を改めて確認し、本校生徒の目指すべき道筋を示したいと存じます。

本校は、教育目標の第一として「誠実」を掲げています。「誠実」とは真心を以て他や物事に対すること、つまり他の個性や人格を尊重することですが、あわせて自分自身をも愛して大切にすることをもちます。自分を大事にできない者は他を大事にできず、逆に他を大事にできない者は自分を大事にはできません。みなさんは自他共に愛せる人に成長できるよう心を磨いてください。

二つ目の教育目標は「賢智」です。これは賢くて知恵のあることを意味します。ただし「賢智」は一朝一夕で身に付くものではありません。小学校・中学校での学習で積み重ねられてきた基礎学力を元に、これからの日々の学習や友人との協働、進んで物事に取り組もうとする進取の精神で獲得していくものです。授業、そして家庭学習、友人と切磋琢磨する場面を大切にしてください。知識は取り込みであるインプットばかりでなく、発表や執筆、他に教える、などのアウトプットをすることによりさらに定着します。

三つ目は「健康」です。日常生活を送るために必要な最低限度の身体と精神の両面の条件が、十分に満たされている状態をさす概念です。単に疾病や虚弱さが無ければ健康であるというわけではありません。精神も大事なのです。そしてここで一つ目の教育目標「誠実」に繋がります。健康に過ごそうとすれば、自分を大切にしようとする心が必要であることに気づき、そして自分を大事にと思えば、他人も健康であって欲しいと思う心、つまり真心を以て自分や他人に対する「誠実」であることが必要になるからです。そしてさらに第二の目標である「賢智」にも繋がります。正しい知識で科学的に考察を進める方法は、どうすれば健康的に過ごせるか、自分の身を守れるか、そして他を守れるか、さらには社会全体が安全で平和で過ごしやすくなるか、と考えを広げ膨らませていくことができるからです。本校の三つの教育目標「誠実」、「賢智」、「健康」はそれぞれが独立しているのではなく、互いに影響し支え合っており、それらを融合させることで人格を形成させようとするものです。新入生の皆さんには、本校の日々の活動はこの教育目標の下で行われていることを自覚していただきたいと思えます。

さて新型コロナウイルスは、五月になると季節性インフルエンザと同じカテゴリーに分類されます。ウィズコロナが終わり、ポストコロナが本格的に始動します。また

目を世界に、地球規模に転ずれば、コロナ以外の多くの問題・課題が我々に押し掛かっていることに気づきます。脱炭素社会への取り組み、世界経済へ影響を及ぼす戦争・紛争など、人間社会は大きな問題をたくさん抱えています。このような時代、このような社会であるからこそ、一人ひとりが明確な目標・目的を持ち、健康な心身で他とともに共生できるよう知性を磨くことが求められます。皆さん自身も責任ある行動で、高東の生活を有意義なものとしてください。

保護者の皆様におかれましては、私共教職員一同も三つの教育目標の下、お子様の心身の成長に寄与できるよう取り組む所存であることを御理解いただき、今後の本校の教育活動に御協力くださいますようお願いいたします。

最後に新入生の皆さん、高東に来てくれて本当にありがとうございます。そして改めてもう一度、高東への入学、おめでとう。以上をもちまして、入学式の式辞といたします。

令和五年四月十日

群馬県立高崎東高等学校

校長 関口 俊邦